



所属 天仁会天久台病院
名前 上原 勝子

- ・ CNS : 精神看護
- ・ CNS 取得年度 : 2014年度
- ・ 本大学院修了年度 : 2012年度
- ・ 大学院での学び並びに修了サポート体制

大学院に進学したのは、当時の精神看護教授である當山先生との出会いがきっかけでした。沖縄県立看護大学では、専門学校卒であっても、条件を満たせば出願資格認定の審査を経て受験でき、さらに、入学後も、主に夜間と休日に受講できます。病院勤務をしながらの通学には、大変学びやすい環境でした。また、私は、入学時に「長期履修制度」を申請し、通常2年の修士課程を、3年間で修了できるように指導教授と計画を立て、単位取得できるようにしました。3年間で、少しでも多くの科目を履修できましたし、それは、貴重な講義を受講できる自己研鑽の機会でもありました。大学院では、専門領域の先生方をはじめ、他領域の先生方にも、普段から、よく声を掛けていただき、大学全体で温かく見守り育てていただいていると感じたことが、何よりの励みになりました。

また、大学院修了後も、指導教授の指導のもと論文を大学の紀要に投稿したり、事例検討会を通じてCNS認定審査に向けた相談と指導を継続して頂けたことは、今回のCNS取得の大きな力になりました。今後は、沖縄県立看護大学大学院修了生としての誇りを持って、活動を続けていきたいと思っています。

・ 学生へのアドバイス

「楽しく働くこと」これが、私の仕事人としてのモットウです。「楽しく」とは、充実していることです。

大学院では、講義、演習、実習、研究と、時間と課題に追われている感覚に襲われることもありますが、新しい事を学ぶ楽しさや、先生方から学ばせていただいている楽しみ、そして、自分で学び気づく楽しみがあります。自分の心身のコンディションを感じながら、メリハリをつけて、様々な課題に取り組めるようにセルフコントロール出来るようにしたことは、厳しい生活を乗り切るのに大事な心掛けだったと振り返ることが出来ます。

今後も、私自身が常に学びの成長過程にいることを自覚しつつ、仲間と共に頑張っていけることを楽しみにしております。